様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事　殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者　〇〇水産株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	第一工場　▲▲課　■■　電話×××－×××-××××

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇水産株式会社 第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年	
第５条第１項関係	特定施設の種類	３ イ 水産動物原料処理施設 ３ ロ 洗浄施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　☐　　無　☑	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 10 のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 11 のとおり。		

設置しようとする特定施設の種類の政令別表第１（p.12）の番号及び名称を記入。
複数の特定施設の届出も可能です。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

（法第５条第１項に基づく届出）

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設 □ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	１号自動原魚処理施設	回転式自動洗浄施設
特定施設号番号及び名称	３　イ　水産動物原料処理施設	３　ロ　洗浄施設
型　　式	○○社製○○式○型 （平成 16 年式）	○○社製○○ （平成元年式）
構　　造	スチール製 （別添構造図参照）	木製 （別添構造図参照）
主　要　寸　法	縦　　３．０ｍ 横　　２．０ｍ 高さ　１．５ｍ 台数　　２台	縦　　３．０ 横　　２．０ 高さ　１．２ｍ 台数　　１台
能　　力	原魚　２０ｔ／時間 （１６０ｔ／日）	原魚　１５０ｔ／時間 （１，２００ｔ／日）
配　　置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設　置　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	○○年○○月○○日
工事完成予定年月日	○○年○○月○○日	○○年○○月○○日
使用開始予定年月日	○○年○○月○○日	○○年○○月○○日
その他参考となるべき事項	主要製品：かまぼこ、冷凍すり身	

工場等で使っている番号、名称等を記入してくださ

機械等の型式、年式を記入する。特に無ければ無記入でも可です。

特定施設の構造図を添付してください。

寸法の他、設置基数を記入してください。

「工場全体の配置図」と「特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してくださ

主要製品など、参考になるべき事項を記入してください。

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

「工場全体の配置図」を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。

工場又は事業場における施設番号		１号自動原魚処理施設	回転式自動洗浄施設	
特定施設号番号及び名称		３ イ 水産動物原料処理施設	３ ロ 洗浄施設	
設置場所		別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	
操業の系統		別紙のとおり	別紙のとおり	
使用時間間隔		連続使用	連続使用	
１日当たりの使用時間		９～１２時、１３～１８時 ８時間	同左	
使用の季節的変動		○～○月は、午後のみ稼働	○～○月は、午後のみ稼働	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		スケトウダラ １４０ｔ ホッケ ２０ｔ	スケトウダラ、ホッケ等 ２００ｔ	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常 / 最大	通常	最大
	pH	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0 / 6.0～8.0
	BOD [mg/L]	1,000	3,700	2,000 / 4,000
	SS [mg/L]	4,500	6,000	3,000 / 3,500
	n-ﾍｷｻﾝ抽出物質 [mg/L]	1,000	1,500	2,000 / 2,500
汚水等の量（m³／日）		通常	最大	通常 / 最大
		１５	２００	３０ / １００
その他参考となるべき事項		内蔵等はミール工場へ売却処理		

排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してくださ

残さの処理など参考となる事項を記入してください。

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙３

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		１号処理施設						
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり				別添配置図のとおり		
設置年月日		年　月　日				年　月　日		
工事着手予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
工事完成予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
種類及び型式		活性汚泥処理施設（ばっ気槽）				活性汚泥処理施設（沈殿槽）		
構造		コンクリート製（別添構造図参照）				スチール製（別添構造図参照）		
主要寸法		○m×○m×○m				○m×○m×○m		
能力		３００m³／日				３(		
処理の方式		散気式ばっ気				沈殿		
処理の系統		別紙のとおり				別紙のとおり		
集水及び導水の方法		ポンプにより集水				ポンプによる送水		
使用時間間隔		連続				連続		
１日当たりの使用時間		24 時間				24 時間		
使用の季節変動		なし				なし		
消耗資材の１日当たりの用途別使用量								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0
	BOD [mg/L]	1,500		2,500			120		160
	SS [mg/L]	3,000		3,500			150		200
	n-ﾍｷｻﾝ抽出物質 [mg/L]								
	量(m³/日)	40	40	300	300	40	40	300	300
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法						汚泥（50m³/月、脱水後 10m³/月）産廃業者に処理委託			
排出水の排出方法						処理水→No.1 排水口→側溝→○○川			
その他参考となるべき事項		別紙 1,2 の特定施設と処理施設の関係等を記入してくださ				１号自動原魚処理施設・回転式自動洗浄施設→1 号処理施設→No.1 排水口			

工場等で使っている番号、名称等を記入してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

汚水処理の系統図を添付してください。

集水及び導水系統を「工場全体の配置図」等に明示してください。

汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。（欄内に記入できない場合は別紙を添付してください。）

排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。

排出先及び排出方法等を記入してください。

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
　　２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

排出水の汚染状態及び量

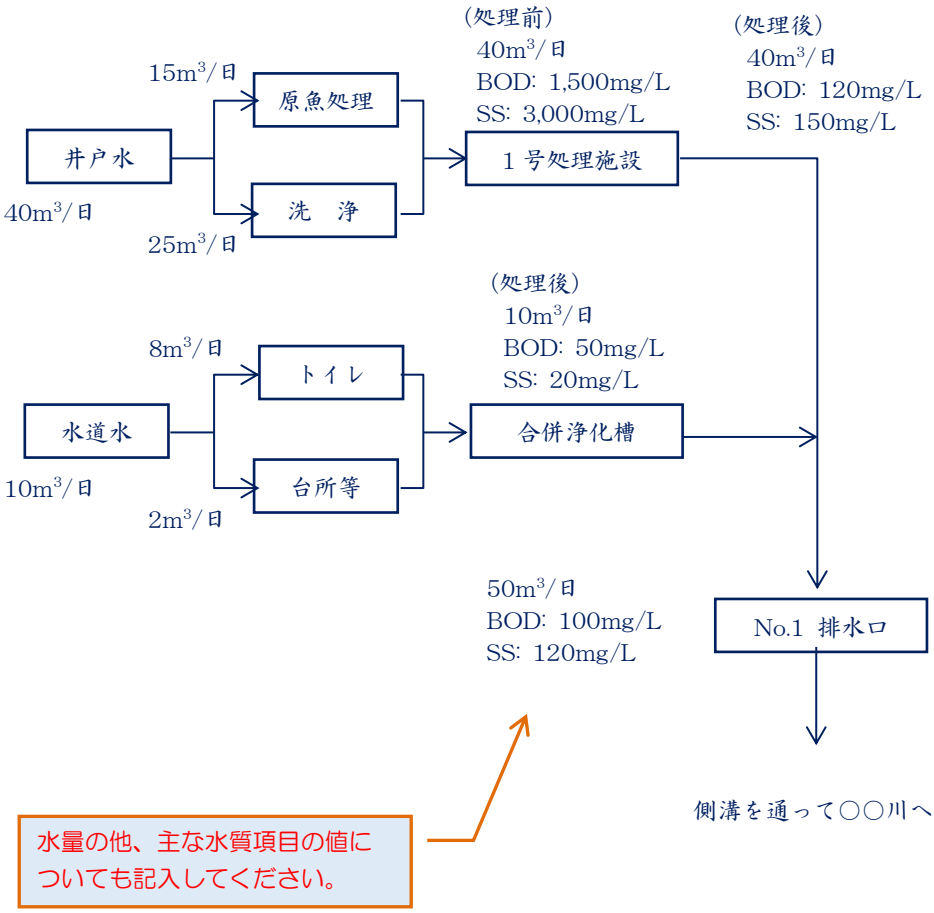
工場又は事業場における施設番号		No.1 排水口			
排出水の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	pH BOD [mg/L] SS [mg/L] n-ﾍｷｻﾝ抽出物質 [mg/L] 大腸菌数 [CFU/ml] アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	6.0～8.0 100 120 20 0 10	6.0～8.0 150 180 25 0 100		
排出水の量（m³／日）		通　常 50	最　大 500	通　常	最　大
その他参考となるべき事項		・１号自動原魚処理施設 ・回転式自動洗浄施設 → １号処理施設 → No.1 排水口 → 側溝 → ○○川 し尿浄化槽排水 特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。 また、公共用水域への経路の概略を記載してください。			

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙６

排出水に係る用水及び排水の系統

用水及び排水の系統



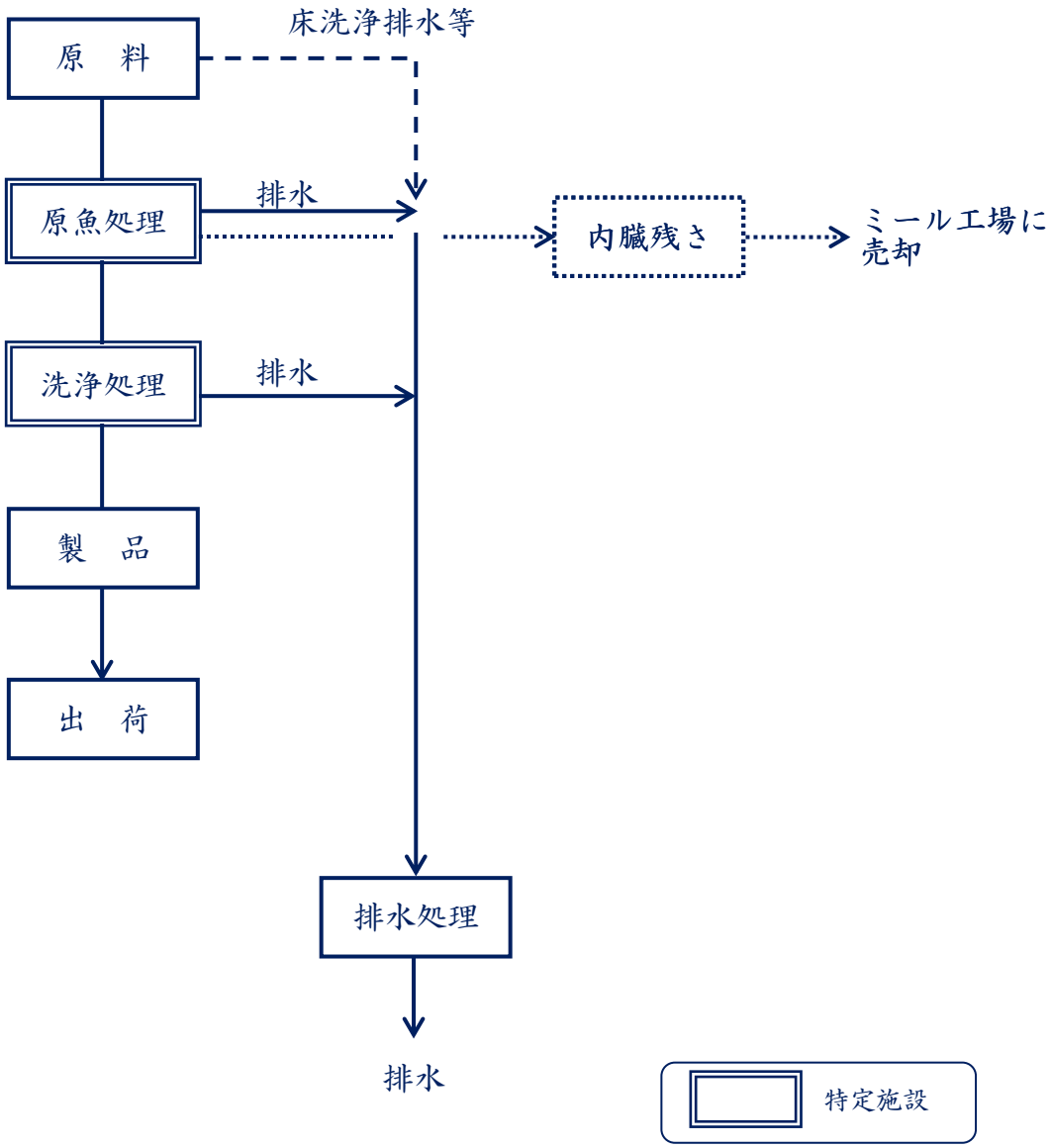
用途別用水使用量

用途	使用水	用水使用量（m³／日）
特定施設	井戸水	40
トイレ・台所等	水道水	10

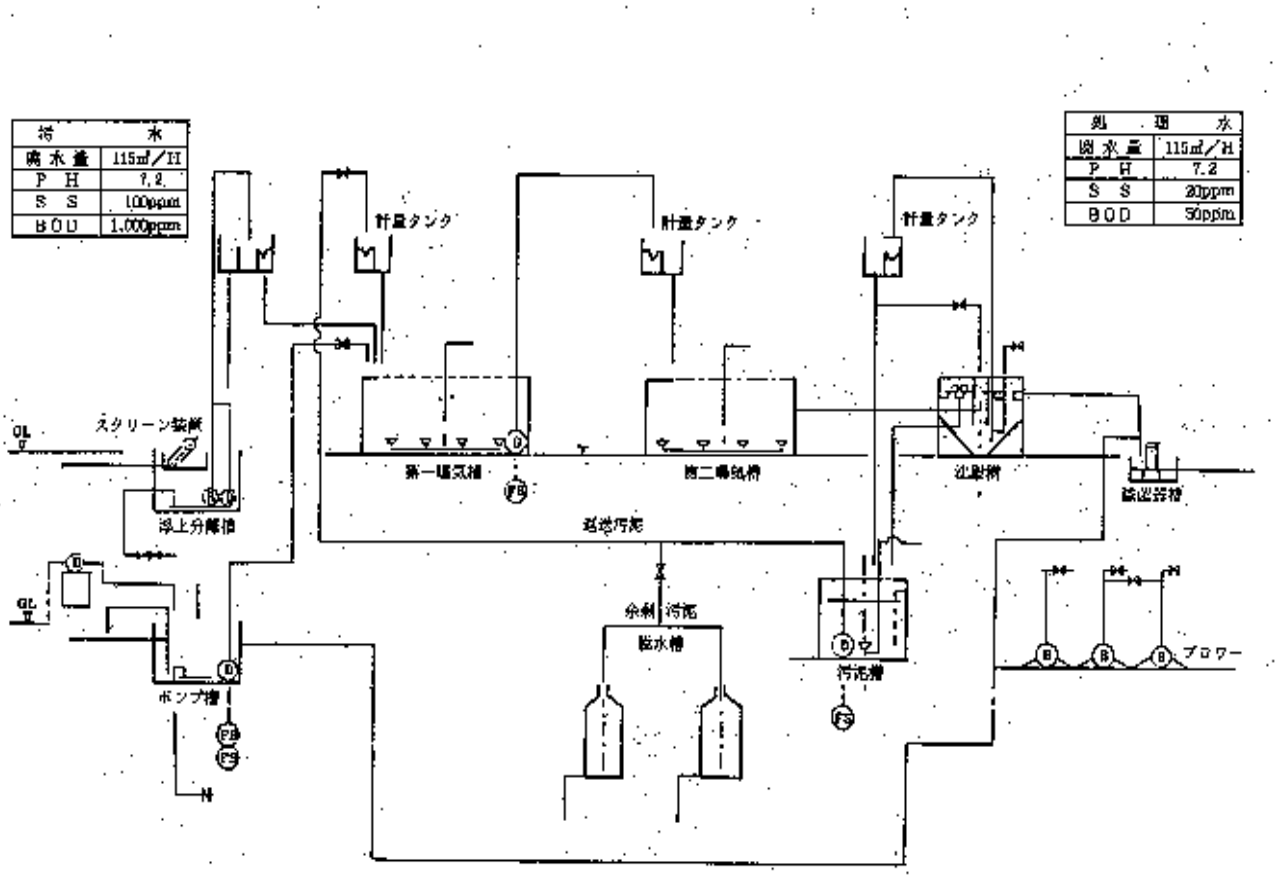
必要な添付書類

（１）特定施設を含む操業の系統図 ・・・記載例
（２）汚水の処理系統図 ・・・記載例
（３）特定施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（４）汚水等処理施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（５）特定事業場付近の見取図
（６）事業場全体の配置図 ・・・記載例
（特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水、排水の導水経路が記載されているもの）

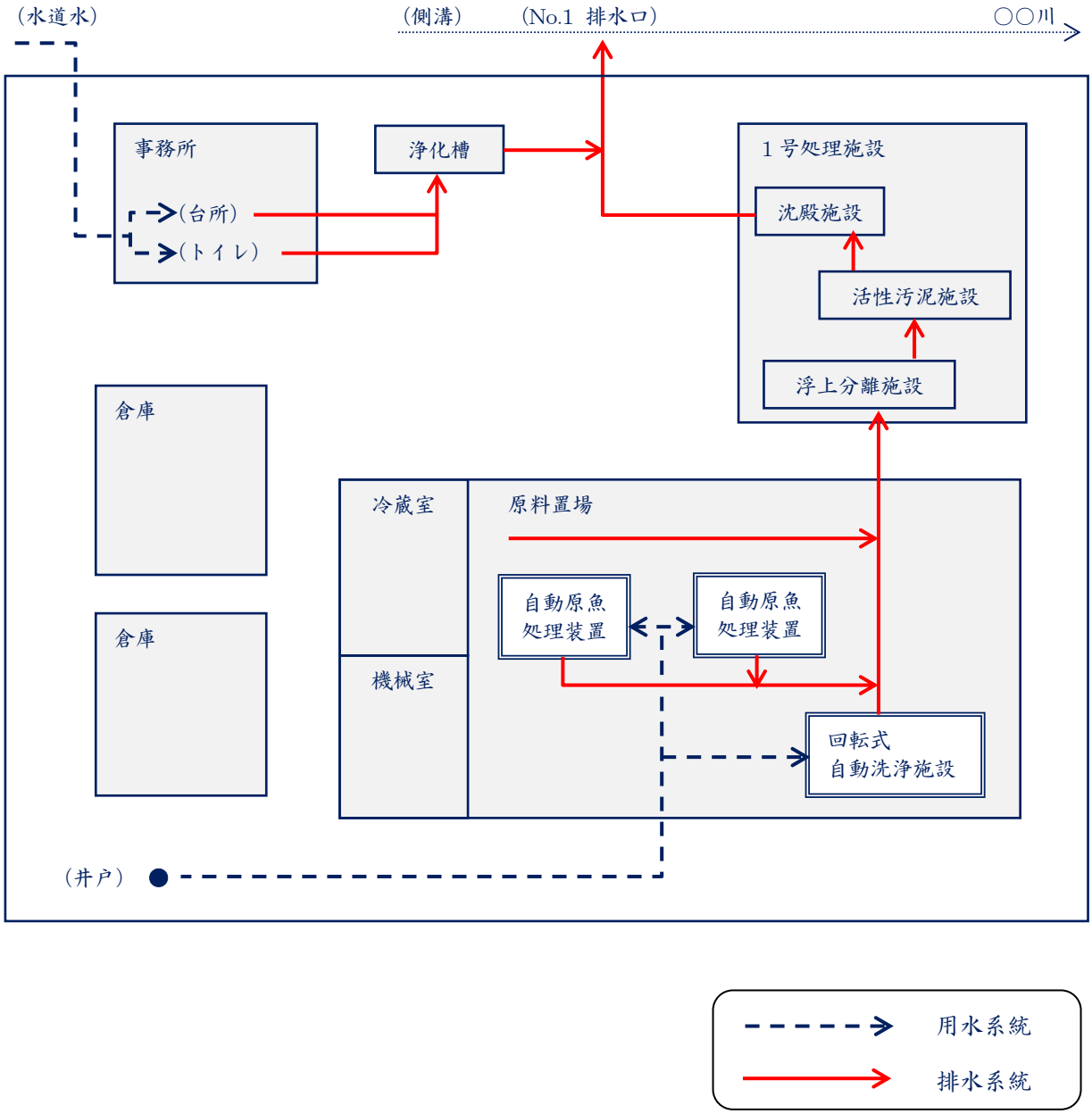
- 特定施設を含む操業の系統図の例



- 汚水の処理系統図の例


汚水
廃水量 115㎥／H
ＰＨ 7.2
ＳＳ 1,000ppm
ＢＯＤ 1,000ppm
処理水
廃水量 115㎥／H
ＰＨ 7.2
ＳＳ 20ppm
ＢＯＤ 30ppm
計量タンク
計量タンク
計量タンク
スクリーン装置
浮上分離槽
第一曝気槽
第二曝気槽
沈殿槽
接触酸化槽
返送汚泥
余剰汚泥
脱水槽
ポンプ槽
汚泥槽
ブロワー

- 事業場全体の配置図の例



様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事　殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者　〇〇観光株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	第一ホテル　▲▲課　■■　電話×××－×××-××××

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇観光　第一ホテル	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受	
第５条第１項関係	特定施設の種類	６６の３ 旅館業 イ ちゅう房施設 ロ 洗濯施設 ハ 入浴施設	※施	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　☐　　無　☑	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１~~の２~~のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

設置しようとする特定施設の種類の政令別表第１（p.12）の番号及び名称を記入。
複数の特定施設の届出も可能です。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設 □ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	１～４	５	６～１７
特定施設号番号及び名称	６６の３　旅館業 イ　ちゅう房施設	６６の３　旅館業 ロ　洗濯施設	６６の３ ハ 入浴施設
型式	・洗米機 ･･･水圧式 ・洗浄機 ･･･水圧式 ・食品洗浄槽･･･１槽式 ・食器洗浄槽･･･２槽式	・ランドリー機械 （〇〇社製 〇〇-〇〇）	・大浴場　　･･･２ ・客室内浴室･･･10
構造	スチール製 （別添構造図参照）	スチール製 （別添構造図参照）	・コンクリート、木製 ・ユニットバス （別添構造図参照）
主要寸法	別紙のとおり	縦　２．０ｍ 横　３．０ｍ 高さ　２．２ｍ	大浴場 20m×15m面積 300 ㎡ 客室内浴室 3m×5m 面積 15 ㎡
能力	約 200 食／日	10 kg／回 （５回／日）	約 150 人／日
配置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項			

工場等で使っている番号、名称等を記入してくださ

機械等の型式、年式を記入してください。特に無ければ無記入でも可です。

特定施設の構造図を添付してください。

「事業場全体の配置図」と「特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

宿泊収容人数、入浴利用者数など、参考になるべき事項を記入してください。

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		１～４		５		６～１７	
特定施設号番号及び名称		６６の３　旅館業 イ　ちゅう房施設		６６の３　旅館業 ロ　洗濯施設		６６の３ ハ 入浴施設	
設　置　場　所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添のとおり		別添の			
使用時間間隔		３時間／回		５時間		２２時間／日	
１日当たりの使用時間		６～９時、１５～１８時 ６時間／日		５時間		９～11 時は清掃 ２２時間／日	
使用の季節的変動		繁忙期（５、１１、１２月）には、使用時間が増加する。		無し		無し	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		・原材料 魚介類、肉類、野菜類等の食料品 ・使用方法 調理して宿泊客に提供 ・一日あたりの使用量 約 500 kg／日		・洗濯物５０ｋｇ ・洗剤　　１ｋｇ		・温泉水及び水道水を使用 ・水量 温泉水約 300～320 m³/日 水道水　約 50～60 m³/日	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大	通　常	最　大
	ｐＨ	5.8～8.6	5.8～8.6	6.5～7.5	6.0～8.0	2.4～3.0	2.2～3.0
	ＢＯＤ　[mg/L]	50	75	200	300	＜5	＜5
	ＳＳ　[mg/L]	25	50	100	200	25	30
	大腸菌数[CFU/ml]	0	0			0	0
	ひ素 [mg/L]					0.05	0.08
汚水等の量（m³／日）		通　常	最　大	通　常	最　大	通　常	最　大
		10	15	20	25	350	380
その他参考となるべき事項						昭和〇〇年〇月に湧出（動力汲み上げ）した温泉水を使用。	

「事業場全体の配置図」を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。

排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、
当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙３

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		１８ 合併処理浄化槽						
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり						
設置年月日		年 月 日						
工事着手予定年月日		○○年○○月○○日						
工事完成予定年月日		○○年○○月○○日						
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日						
種類及び型式		合併浄化槽 ○○社製○○型						
構造		FRP 製（別添構造図参照）						
主要寸法		○m×○m×○m						
能力		400 人槽（100m³／日）						
処理の方式		長時間ばっ気方式						
処理の系統		別紙のとおり						
集水及び導水の方法		ポンプにより圧送						
使用時間間隔		連続、通年						
１日当たりの使用時間		24 時間						
使用の季節変動		なし						
消耗資材の１日当たりの用途別使用量		滅菌用固型塩素剤 100 g／日						
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH BOD [mg/L] SS [mg/L] 大腸菌数 [CFU/ml] ｱﾝﾓﾆｱ等 [mg/L]	7.8 110 150 ＞800 50	7.2 20 10 0 30	7.8 130 160 ＞800 100	7.2 25 15 0 80				
	量(m³/日)	80	80	90	90				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		余剰汚泥（1.0m³/月） 業者に処理委託							
排出水の排出方法		処理水→No.1 排水口→側溝→○○川							
その他参考となるべき事項		・ちゅう房施設、洗濯施設、大浴場（洗い場）、客室内浴室→ 浄化槽→ No.1 排水口 ・大浴場（温泉排水）→ No.2 排水口							

工場等で使っている番号、名称等を記入してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

汚水処理の系統図を添付してください。

集水及び導水系統を「工場全体の配置図」等に明示してください。

汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。（欄内に記入できない場合は別紙添付してください。）

排出先及び排出方法等を記入してください。

別紙 1,2 の特定施設と処理施設の関係等を記入してください。

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
　　２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No.1 排水口（浄化槽排水）		No.２排水口（温泉水排水）	
排出水の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	ｐＨ	7.2	7.2	2.4～3.0	2.4～3.0
	ＢＯＤ［mg/L］	20	25	<5	<5
	ＳＳ　［mg/L］	10	15	25	30
	大腸菌数[CFU/ml]	0	0	0	0
	ひ素　［mg/L］				
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物[mg/L]	30	80	0.05	0.08
排出水の量（m³／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		80	90	300	320
その他参考となるべき事項		・No.1 排水口(浄化槽排水)は、ちゅう房排水・洗濯機排水と浴場排水を合併浄化槽で処理したもの ・No.2 排水口(温泉水排水)は、大浴場の浴槽オーバーフロー水をそのまま排水するもの ・ともに、側溝を通って〇〇川へ排水			

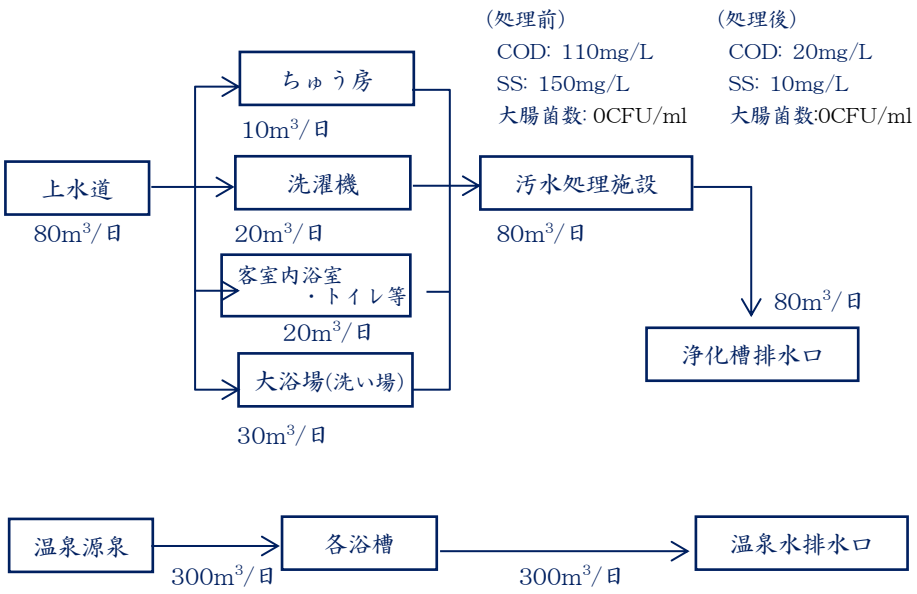
特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。
また、公共用水域への経路の概略を記載してください。

備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙６

排出水に係る用水及び排水の系統

用水及び排水の系統



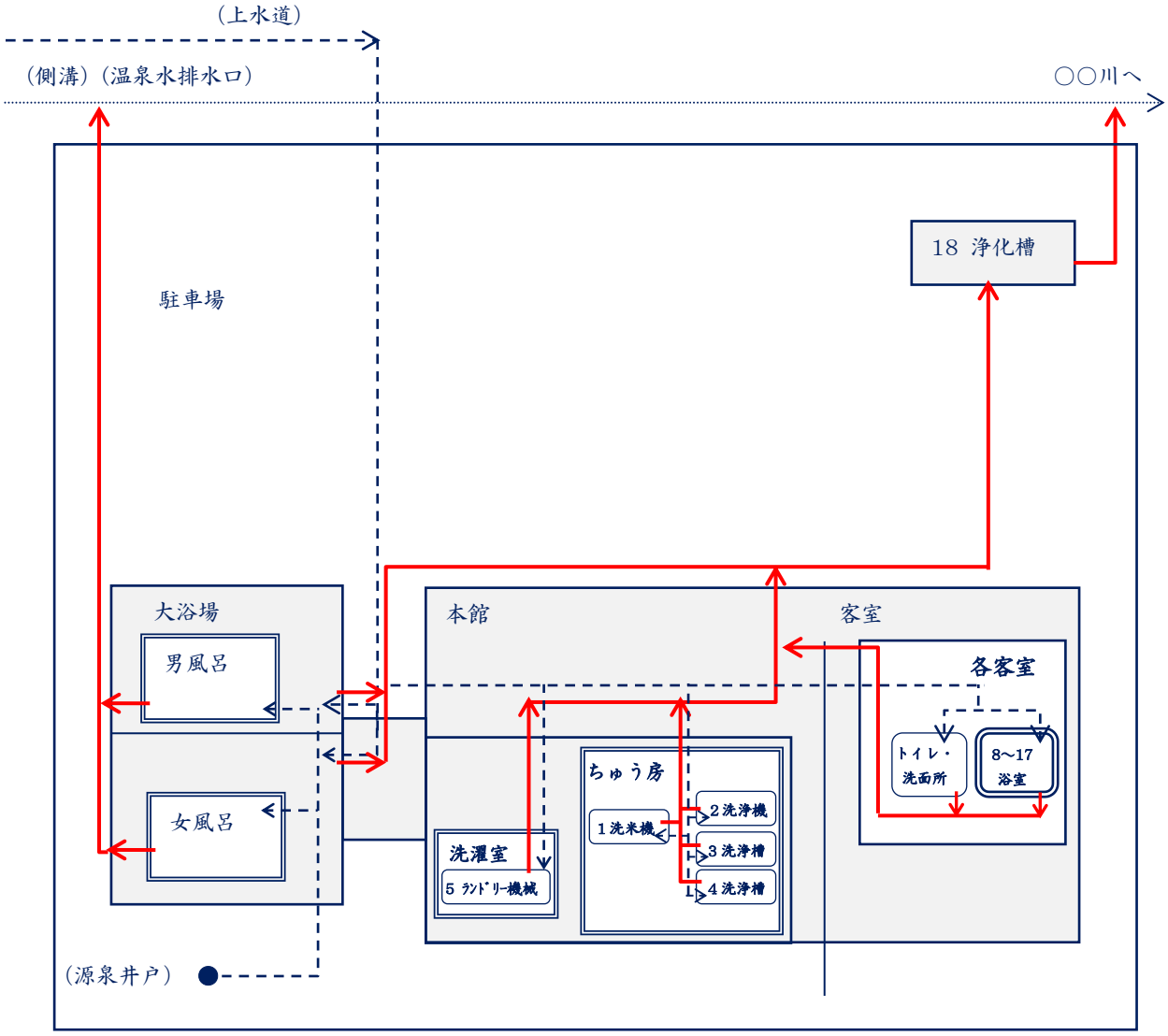
用途別用水使用量

用途	使用水	用水使用量（m３／日）
ちゅう房用	水道水	10
洗濯機用	水道水	20
客室用（浴室・トイレ）	水道水	20
大浴場（洗い場）	水道水	30
大浴場	温泉水	300

必要な添付書類

（１）特定施設を含む操業の系統図
（２）汚水の処理系統図
（３）特定施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（４）汚水等処理施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（５）特定事業場付近の見取図
（６）事業場全体の配置図　・・・記載例
（特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路が記載されているもの）

- 事業場全体の配置図の例



全体配置図の他、各施設（ちゅう房、洗濯室、大浴場、客室）の図面を添付してください。

様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事　殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者　〇〇〇〇牧場　北 海　太 郎
江別市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	■■　電話は同上

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇〇〇牧場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		江別市〇〇町〇番〇号	※受	
第５条第１項関係	特定施設の種類	１の２ 畜産農業 イ　豚房施設 ロ　牛房施設	※施	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　☐　　無　☑	※審	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

次の下線のうち、該当するものを記載してください。
１の２ 畜産農業
イ　豚房施設
（豚房総面積 50 ㎡以上）
ロ　牛房施設
（牛房総面積 200 ㎡以上）
ハ　馬房施設
（馬房総面積 500 ㎡以上）

※　豚房・牛房・馬房とは家畜を収容する個々の房を指し、通路、飼料置場、運動場等は含まれません。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設 □ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	肉用豚舎	乳牛舎（A 棟、B 棟）	肉用牛舎
特定施設号番号及び名称	１の２ イ 豚房施設	１の２ ロ 牛房施設	１の２ ロ 牛房施設
型　　式	ケージ式豚舎	スタンチョンストール式牛舎	フリーバーン式牛舎
構　　造	木造 （別添構造図参照）	木造 （別添構造図参照）	木造 （別添構造図参照）
主　要　寸　法	縦 35m、横 10m、 高さ 3m 豚房面積 1 ｹｰｼﾞあたり 16 ㎡ (4m×４m) 計 10 ｹｰｼﾞ = 160 ㎡	縦 40m、横 15m、 高さ　4m、棟数２棟 牛房面積 1 ｽﾄｰﾙあたり 2.4 ㎡ (1.5m×2m) 計 40 ｽﾄｰﾙ×2 棟 =240 ㎡	縦 30m、横 20m、 高さ　5m 牛房面積 1 ﾊﾞｰﾝあたり 240 ㎡ (30m×8m) 計２ﾊﾞｰﾝ=480 ㎡
能　　力	収容能力　200 頭	収容能力　40 頭／棟	収容能力　200 頭
配　　置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		同型を２棟設置	

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		肉用豚舎		乳牛舎（A 棟、B 棟）		肉用牛舎	
特定施設号番号及び名称		１の２ イ 豚房施設		１の２ ロ 牛房施設		１の２ ロ 牛房施設	
設置場所		別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
操業の系統		別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
使用時間間隔		連続使用		連続使用		連続使用	
１日当たりの使用時間		24 時間		24 時間		24 時間	
使用の季節的変動		なし		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		配合飼料 2.5kg／頭 水（飲水）５ﾘｯﾄﾙ／頭		配合飼料 8kg／頭 水（飲水）60 ﾘｯﾄﾙ／頭		配合飼料 6kg／頭 水（飲水）５ﾘｯﾄﾙ／頭	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物［mg/L］			<100	<100		
汚水等の量（m^3／日）		通常	最大	通常	最大	通常	最大
		0	0	3.5	4.0	0	0
その他参考となるべき事項		糞尿量 6kg/頭 糞尿はスラリー化し、液肥として草地・畑地散布。		糞 35kg/頭、尿 15kg/頭 ・糞尿は敷料とあわせて堆肥化し、牧草地へ散布。 ・堆肥舎からの浸出液はスラリー槽で貯留し、液肥として畑地へ散布。 ・畜舎排水はﾐﾙｶｰ・ﾊﾞﾙｸｸｰﾗ洗浄水。		糞 15kg/頭、尿 7kg/頭 ・糞尿は敷料とあわせて堆肥化し、牧草地へ散布。 ・堆肥舎からの浸出液はスラリー槽で貯留し、液肥として畑地へ散布。	

事業場全体の排出水が 50m^3／日を超えていない場合は、有害物質に係る項目に関して記載してください。50m^3／日以上の場合は、生活環境項目についても記載してください。

敷料に糞尿を混合している場合は「0」となります。
また、乳牛においてはバルククーラー等の付帯施設の排水が排出される場合は記載してください。

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

（法第５条第１項に基づく届出）

汚水処理施設を有していない場合は、
次のとおり記載してください。

別紙３

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	汚水処理施設 無し							
処理施設の設置場所								
設置年月日	年　月　日				年　月　日			
工事着手予定年月日	年　月　日				年　月　日			
工事完成予定年月日	年　月　日				年　月　日			
使用開始予定年月日	年　月　日				年　月　日			
種類及び型式								
構造								
主要寸法								
能力								
処理の方式								
処理の系統								
集水及び導水の方法								
使用時間間隔								
１日当たりの使用時間								
使用の季節変動								
消耗資材の１日当たりの用途別使用量								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量（m^3/日）								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

排出水の汚染状態及び量

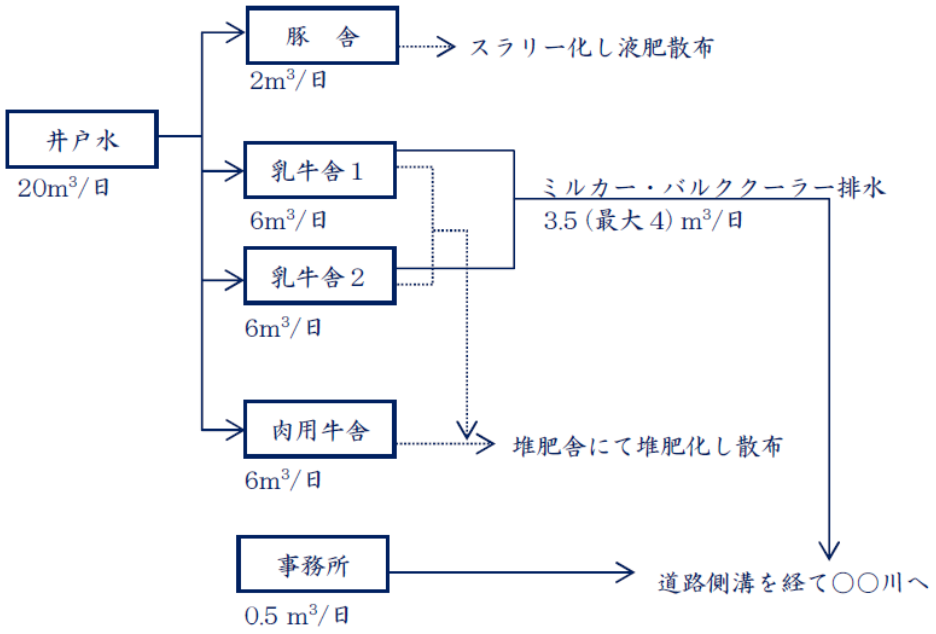
工場又は事業場における施設番号		事務所 排水口			
排出水の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	＜１００	＜１００		
排出水の量（m³／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		4	5		
その他参考となるべき事項		・糞尿及び特定施設からの排水については、液肥化・堆肥化し、牧草地及び畑地へ散布するため、排出水は事務所雑排水及びミルカー・バルククーラー排水のみ。			

事業場全体の排出水が 50m³／日を超えていない場合は、有害物質に係る項目に関して記載してください。50m³／日以上の場合は、生活環境項目についても記載してください。

備考　排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙６

排出水に係る用水及び排水の系統

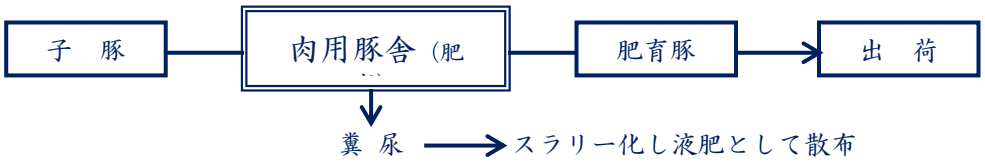
<table>
<tr><td>用水及び排水の系統</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>用　途　別
用水使用量</td><td><table>
<tr><td>用途</td><td>使用水</td><td>用水使用量（m³／日）</td></tr>
<tr><td>特定施設</td><td>井戸水</td><td>18</td></tr>
<tr><td>その他施設</td><td>井戸水</td><td>2</td></tr>
<tr><td>事務所</td><td>水道水</td><td>0.5</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
</table>

必要な添付書類

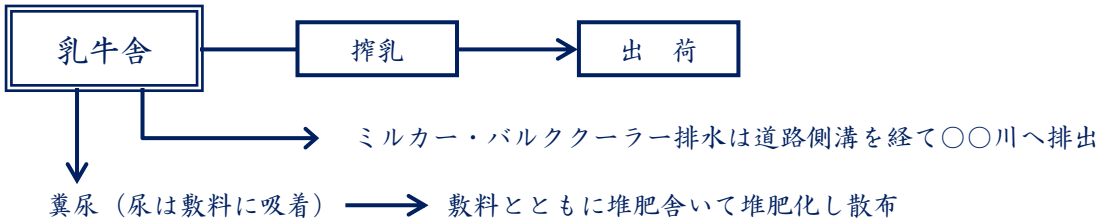
（１）特定施設を含む操業の系統図　・・・記載例
（２）汚水の処理系統図
（３）特定施設の構造図（寸法が記載されているもの）　・・・記載例
（４）汚水等処理施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（５）特定事業場付近の見取図
（６）事業場全体の配置図
（特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路が記載されているもの）

・ 特定施設を含む操業の系統図の例

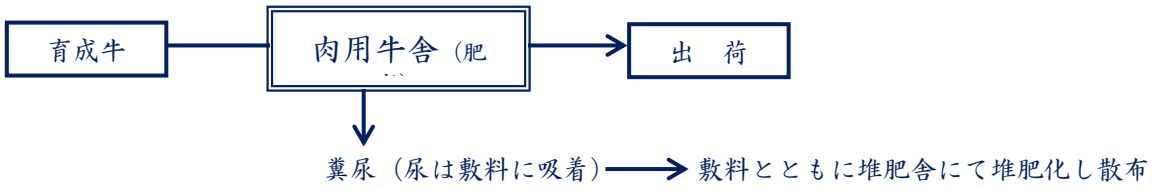
(1) 肥育豚



(2) 乳牛



(3) 肉牛

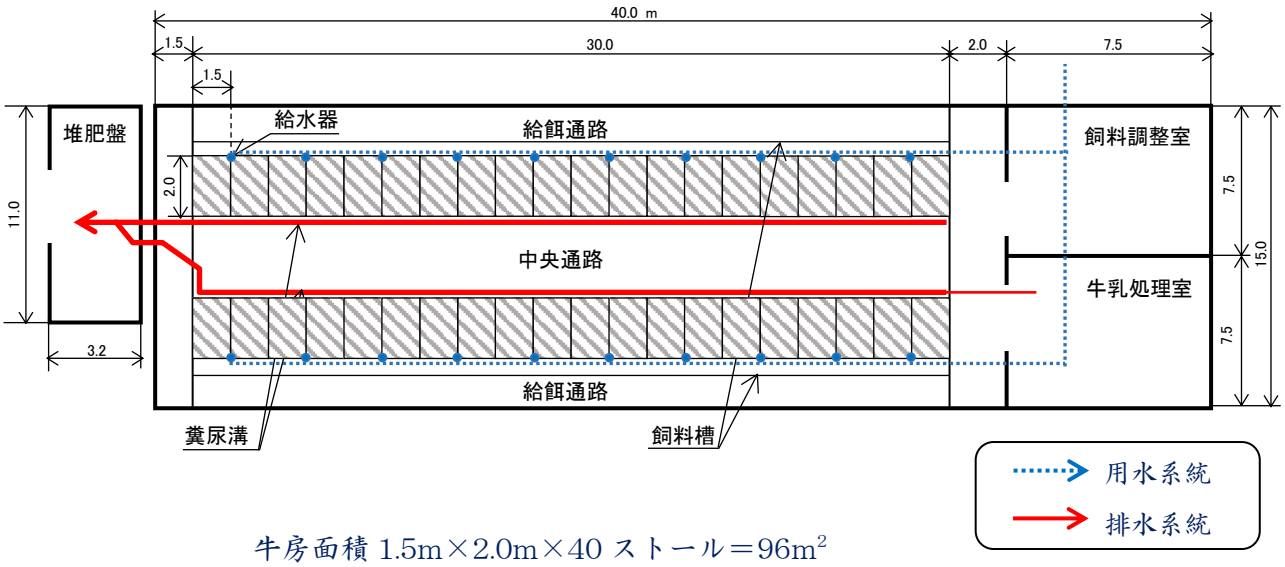


本記載例は子豚等育成家畜を購入している場合を想定していますが、
自家繁殖等を行っている場合は、その生産過程を含めて記載してくださ

・ 特定施設の構造図の例

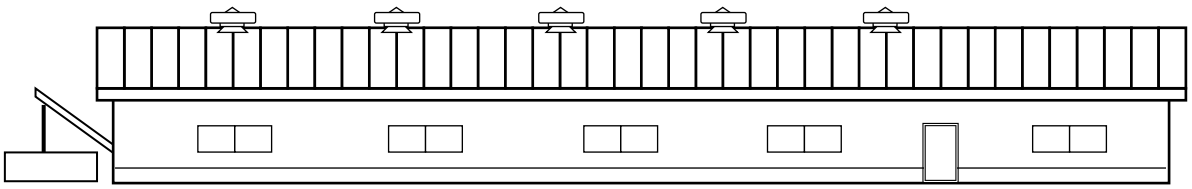
乳牛舎（同型２棟）

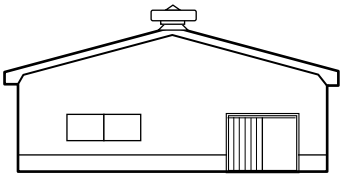
・平面図



牛房面積 1.5m×2.0m×40 ストール＝96m^2

・立面図





・図は、すべての畜舎について１棟ずつ作成してください。
※ 完全に同一の畜舎については、「同型○棟」のように記載し、省略可です。
※ 堆肥舎を有する場合は、参考として図面を添付してください。
・畜舎の平面図に、用排水の経路（色分け）を図示してください。
・各部の寸法を記入してください。
・畜舎内の房面積を算出し、記載してください。
・各施設の名称等を記入してください。
・立面図が無い、または作成困難な場合は、写真を添付してください。

様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事　殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者　**〇〇クリーニング株式会社**
代表取締役　北　海　太　郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話　〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	**第二工場　■■　電話　×××－×××－××××**

水質汚濁防止法第５条第１項~~、第２項又は第３項（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		**〇〇クリーニング(株)** **第二工場**	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		**石狩市〇〇町〇番〇号**	※受理年	
第５条第１項関係	特定施設の種類	**６７　洗濯業の用に供する洗浄施設**	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　☐　　無　☑	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類	**６７　洗濯業の用に供する洗浄施設**		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 10 のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 11 のとおり。		

設置しようとする特定施設の種類の政令別表第１（p.12）の番号及び名称を記入。
複数の特定施設の届出も可能です。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設 □ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

特定施設の構造

工場等で使っている番号、名称等を記入してください。

機械等の型式、年式を記入する。特に無ければ無記入でも可です。

特定施設の構造図を添付してください。

「事業場全体の配置図」と「特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

工場又は事業場における施設番号	ランドリー機械（１、２）	
特定施設号番号及び名称	６７　洗濯業の用に供する洗浄施設	
型　　式	○○社製　○○－○○ 平成○○年式	
構　　造	スチール製 （別添構造図参照）	
主　要　寸　法	縦　　２．０ｍ 横　　３．８ｍ 高さ　２．５ｍ ２台	
能　　力	１０ｋｇ／回 （５回／日）	
配　　置	別添配置図のとおり	
設　置　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
工事完成予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
使用開始予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
その他参考となるべき事項		

備考　１　配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

２　その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙２

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	ランドリー機械（１、２）			
特定施設号番号及び名称	６７　洗濯業の用に供する洗浄施設			
設　置　場　所	別添配置図のとおり			
操業の系統	別紙のとおり			
使用時間間隔	１時間おき			
１日当たりの使用時間	８～１１時、１２～１４時 ５時間			
使用の季節的変動	繁忙期（３～１２月）は、 時間を延長して稼働。			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量	・洗濯物（おしぼり）５０ｋｇ ・洗剤　１０ｋｇ ・次亜塩素酸ソーダ　５ｋｇ			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	ｐＨ ＢＯＤ　[mg/L] ＳＳ　[mg/L]	6.0～8.0 300 200	6.0～8.0 500 250		
汚水等の量（m^3／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		55	80		
その他参考となるべき事項					

「事業場全体の配置図」を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。

排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。

残さの処理など参考となる事項を記入してください。

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙３

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		活性汚泥処理施設						
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり						
設置年月日		年　月　日				年　月　日		
工事着手予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
工事完成予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
種類及び型式		活性汚泥処理施設（ばっ気槽）				活性汚泥処理施設（沈殿槽）		
構造		コンクリート製（別添構造図参照）				スチール製（別添構造図参照）		
主要寸法		○m×○m×○m				○m×○m×○m		
能力		100m³／日				100m³／日		
処理の方式		散気式ばっ気				沈殿		
処理の系統		別紙のとおり				別紙		
集水及び導水の方法		ポンプによる集水				ポンプにより送水		
使用時間間隔		連続、通年				連続、通年		
1日当たりの使用時間		24時間				24時間		
使用の季節変動		なし				なし		
消耗資材の1日当たりの用途別使用量								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0
	BOD [mg/L]	300		500			100		150
	SS [mg/L]	200		250			120		180
	量(m³/日)	55	55	80	80	55	55	80	80
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法						汚泥（50m³/月、脱水後 10m³/月）産廃業者に処理委託			
排出水の排出方法						処理水→総合排水口→側溝→○○川			
その他参考となるべき事項						ランドリー機械 → 総合排水口			

工場等で使っている番号、名称等を記入してください。

法第６条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。

汚水処理の系統図を添付してください。

集水及び導水系統を「工場全体の配置図」等に明示してください。

汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。
（欄内に記入できない場合は別紙添付してください。）

排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。

排出先及び排出方法等を記入してください。

別紙 1,2 の特定施設と処理施設の関係等を記入してくださ

備考　１　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
　　２　排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙４

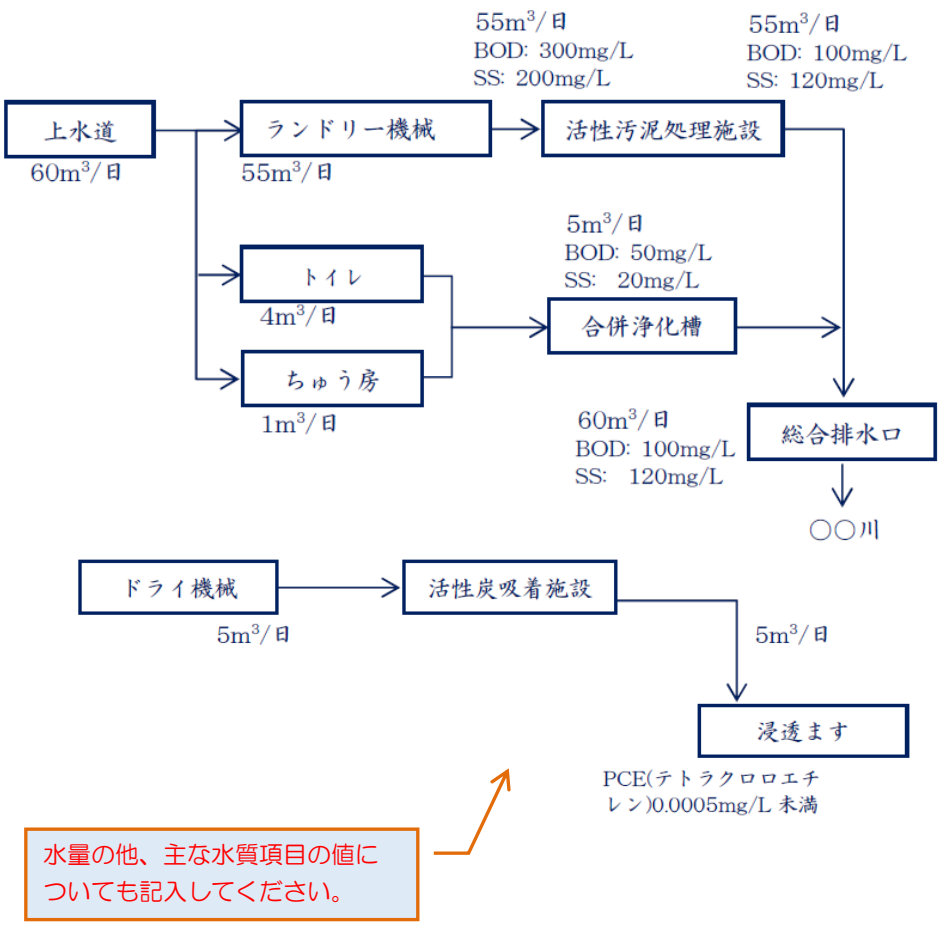
排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		総合排水口			
排出水の汚染状態	種類・項目	通　常	最　大	通　常	最　大
	ｐＨ	6.0 ～ 8.0	6.0 ～ 8.0		
	ＢＯＤ　[mg/L]	100	150		
	ＳＳ　[mg/L]	120	180		
	大腸菌数[CFU/ml]	0	0		
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	5	100		
	テトラクロロエチレン　[mg/L]	＜0.0005	0.0005		
排出水の量（m³／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		60	85		
その他参考となるべき事項		ランドリー機械 → 総合排水口 → 側溝 → ○○川 し尿浄化槽排水 ↑ 特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。 また、公共用水域への経路の概略を記載してください。			

備考　汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙６

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	

用途別用水使用量	用途	使用水	用水使用量（m³／日）
	洗浄施設（ランドリー機械）	水道水	５５
	トイレ、ちゅう房	水道水	5
	洗浄施設（ドライ機械）	溶剤	5

別紙７

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械（１、２）	
特定施設号番号及び名称	６７　洗濯業の用に供する洗浄施設	
型　　式	○○社製　○○－○○	
構　　造	スチール製 （別紙構造図参照）	
主　要　寸　法	縦　　２．０ｍ 横　　３．０ｍ 高さ　２．２ｍ ２台	
能　　力	洗濯物　１０ｋｇ／回	
配　　置	別添配置図のとおり	
設　置　年　月　日	年　　月　　日	年　　月　　日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
工事完成予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
使用開始予定年月日	○○年○○月○○日	年　　月　　日
その他参考となるべき事項		

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙８

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		ドライクリーニング機械（１、２）			
特定施設号番号及び名称		６７　洗濯業の用に供する洗浄施設			
設　置　場　所		別添配置図のとおり			
操業の系統		別紙のとおり			
使用時間間隔		１時間おき			
１日当たりの使用時間		8～12 時、13～16 時 計７時間			
使　用　の 季節的変動		繁忙期（4～5 月、9～10 月）は、時間を延長して稼働。			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量		・対象物 衣類、作業服 ・溶剤 ﾊﾟｰｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ） 3kg/日			
汚水等の汚染状態	種　類	通　常	最　大	通　常	最　大
	PCE （ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ） [mg/L]	100	120		
汚水等の量 （m³／日）		通　常	最　大	通　常	最　大
		5	6		
その他参考となるべき事項					

備考　　汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

別紙９

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		活性炭吸着処理施設						
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり						
設置年月日		年　月　日				年　月　日		
工事着手予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
工事完成予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日				○○年○○月○○日		
種類及び型式		活性炭吸着処理施設（水分離器）				活性吸着処理施設（吸着装置）		
構造		スチール製（別添構造図参照）				スチール製（別添構造図参照）		
主要寸法		○mφ　×○m				○mφ　×○m		
能力		10m³／日				10m³／日		
処理の方式		沈降分離				吸着		
処理の系統		別紙のとおり				別紙のとおり		
集水及び導水の方法		ポンプによる集水				ポンプにより送水		
使用時間間隔		連続				連続		
１日当たりの使用時間		8～12 時、13～16 時 計７時間				8～12 時、13～16 時 計７時間		
使用の季節変動		繁忙期（4～5 月、9～10 月）は、時間を延長して稼働。				繁忙期（4～5 月、9～10 月）は、時間を延長して稼働。		
消耗資材の１日当たりの用途別使用量						活性炭　○ kg／月 （毎月交換）		
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	PCE（テトラクロロエチレン）	100	50	120	60	50	<0.0005	60	<0.0005
	量（m³/日）	5	5	6	6	5	5	6	6
残さの種類、１月間の種類別生成量及び処理方法						活性炭　○kg／月 処理業者に委託			
その他参考となるべき事項									

備考　汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

別紙 10

特定地下浸透水の浸透の方法

<table>
<tr><td colspan="2">浸透施設の位置</td><td colspan="8">別添配置図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">浸透施設の数</td><td colspan="8">１カ所</td></tr>
<tr><td rowspan="3">浸透水</td><td>工場又は事業場における施設番号</td><td colspan="2">１号浸透ます</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">量(m³／日)</td><td>通常</td><td>最大</td><td>通常</td><td>最大</td><td>通常</td><td>最大</td><td>通常</td><td>最大</td></tr>
<tr><td>5</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">その他参考となるべき事項</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

別紙 11

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

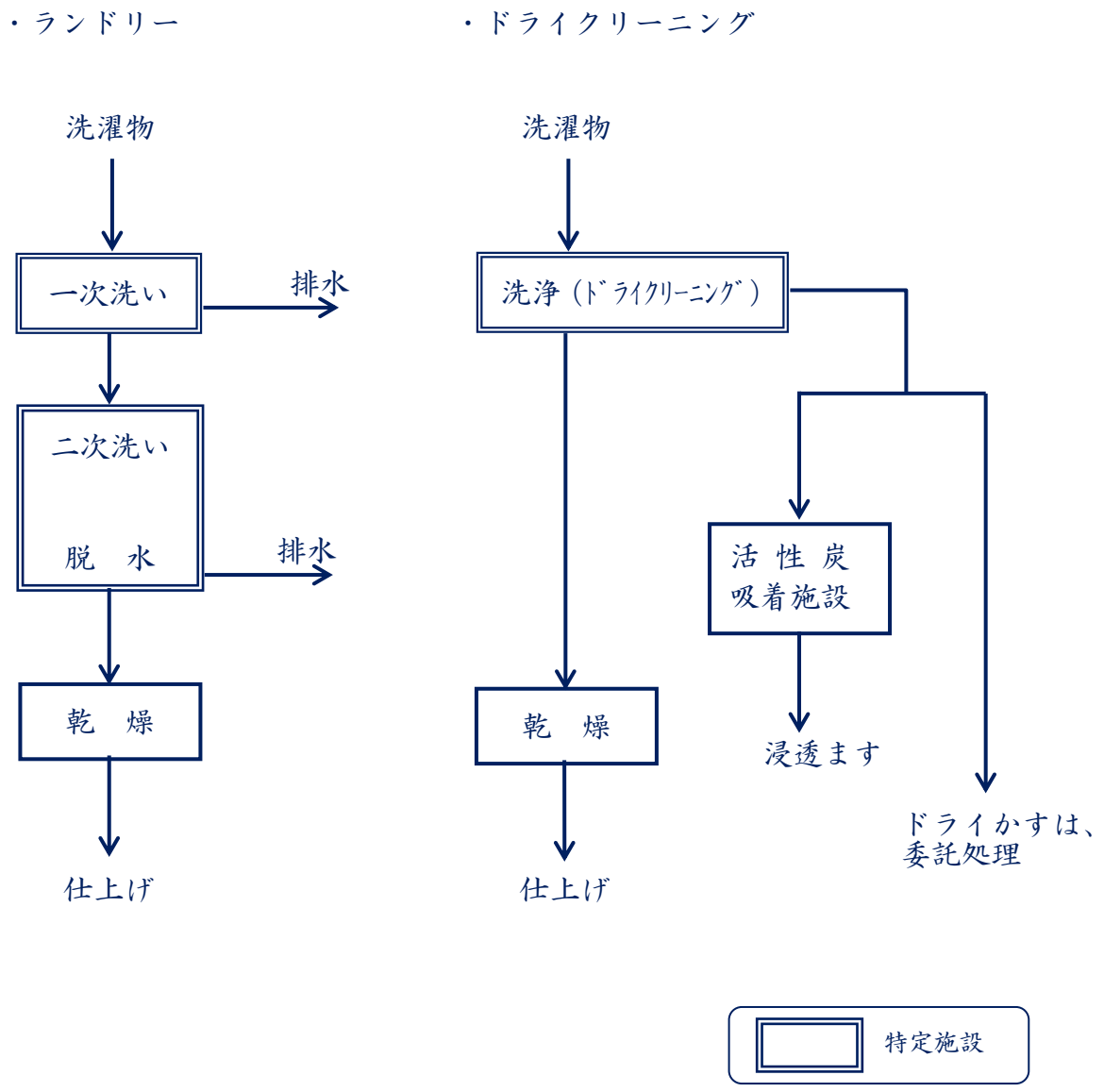
用水及び排水の系統	別紙６のとおり		
用途別用水使用量	用途	使用水	用水使用量（m^3／日）
	洗浄施設（ドライ施設）	溶剤	５

必要な添付書類

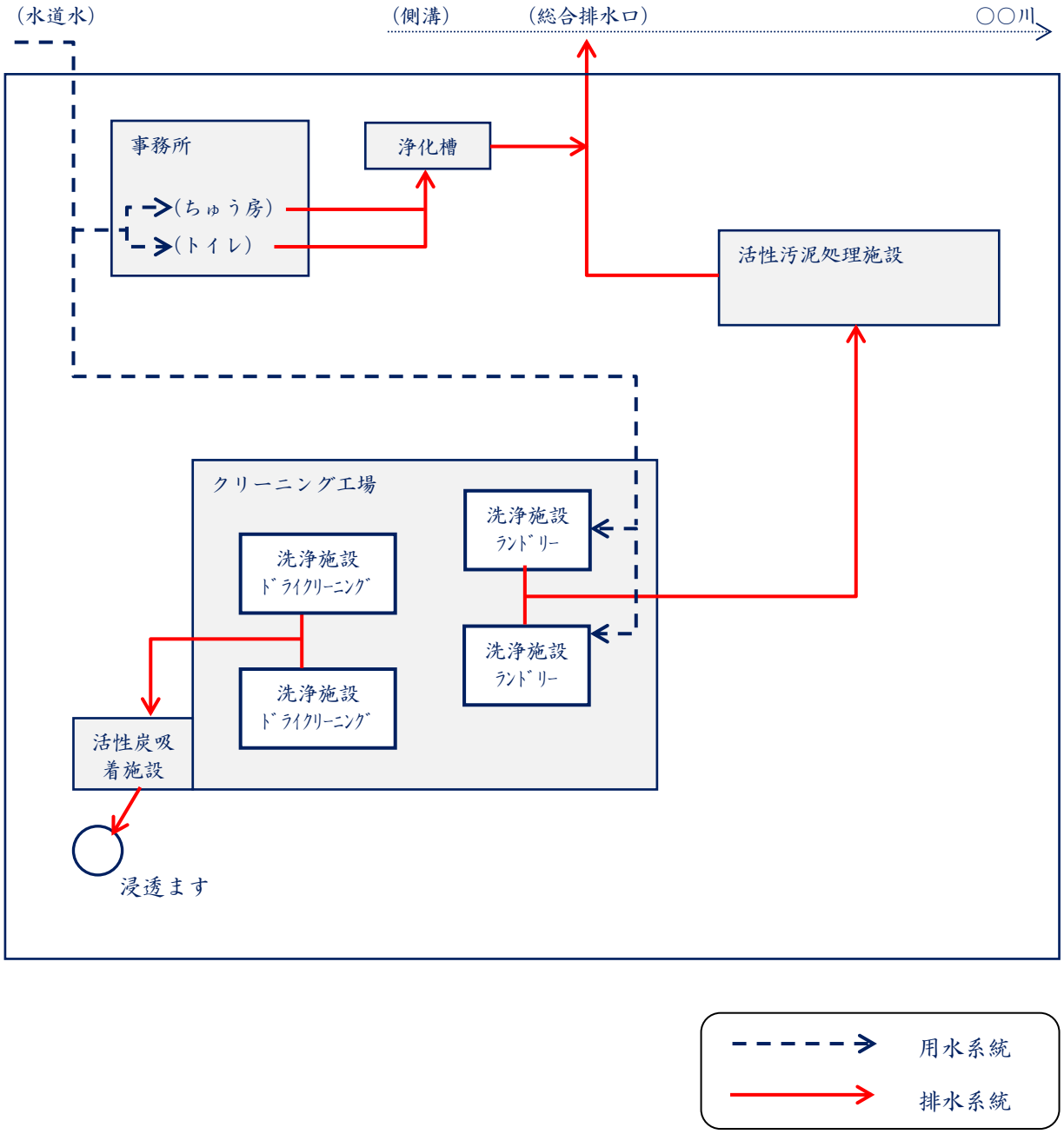
（１）特定施設を含む操業の系統図　・・・記載例
（２）汚水の処理系統図
（３）特定施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（４）汚水等処理施設の構造図（寸法が記載されているもの）
（５）特定事業場付近の見取図
（６）事業場全体の配置図　・・・記載例

（特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路
特定地下浸透水の浸透施設の位置及び浸透場所の位置が記載されているもの）

- 特定施設を含む操業の系統図の例



・　事業場全体の配置図の例



様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（~~使用、変更~~）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

本記載例は、下水道へ排出している既設事業場が、法改正により新たに第５条第３項の有害物質使用特定施設となったケースを想定し、第６条第１項による使用届出としています。

〇〇クリーニング株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
届出者　石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	第二工場　■■　電話は同上

水質汚濁防止法~~第５条第１項、第２項又は第３項（~~第６条第１項~~又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇クリーニング(株) 第二工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年　月　日
第５条第１項関係	特定施設の種類		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　□　　無　□	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備　　考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 10 のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 11 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☑ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当するものに「レ」印を記入してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙 12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６７ 洗濯業の用に供する洗浄施設）	
型　　式	○○社製　○○－○○	
構　　造	スチール製 （別紙構造図参照）	
主 要 寸 法	縦　　２．０ｍ 横　　３．０ｍ 高さ　２．２ｍ １台	
能　　力	洗濯物　１０ｋｇ／回	
配　　置	工場棟１階 （別添配置図参照）	
床面及び周囲	床面：コンクリート（厚さ 100mm）及び樹脂コーティング 周囲：コンクリート（厚さ 100mm）側溝（貯留量 8m^3）	
設 置 年 月 日	○○年○○月○○日	年　月　日
工事着手予定年月日	年　月　日	年　月　日
工事完成予定年月日	年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日	年　月　日	年　月　日
その他参考となるべき事項		

工場等で使っている番号、名称等を記入してください。

有害物質使用特定施設の場合は、政令別表第１（p.11）の特定施設の番号及び名称を記入してください。

構造図を添付してください。

地下に設置されている場合は、その旨記載してください。

配置図を添付してください。

防液堤等について、その容量を記入してください。

使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６７ 洗濯業の用に供する洗浄施設）	
設　　備	バルブ類　２ヶ ためます　１ヶ	施設に付帯する配管、バルブ類、ポンプ設備、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。
構　　造	バルブ類：地上配管、ｽﾃﾝﾚｽ製 ためます：ｺﾝｸﾘｰﾄ製（厚さ 50mm） （別添構造図参照）	設備の構造、材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載してください。
主　要　寸　法	バルブ類：径 20mm×150mm ためます：50cm×50cm×50cm （別添構造図参照）	設備のうち、主なものについて寸法を記載してください。
配　　置	工場棟　１階 （別添配置図参照）	建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記してください。
設 置 年 月 日	○○年○○月○○日	年　月　日
工事着手予定年月日	年　月　日	使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日	年　月　日	年　月　日
その他参考となるべき事項		有害物質を含む水が流れ出ない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、当欄にその旨記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

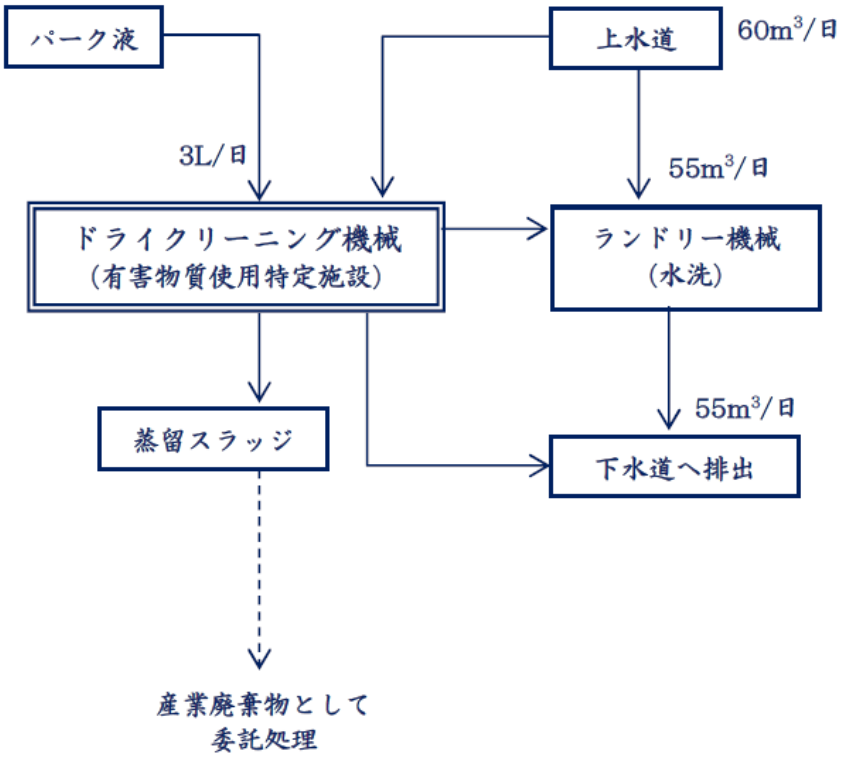
工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６７ 洗濯業の用に供する洗浄施設）	
設置場所	工場棟１階（別添配置図参照）	
操業の系統	ドライクリーニングを行う	
使用時間間隔	8～12 時、13～16 時	
１日当たりの使用時間	計７時間	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	・対象物　衣類、作業服 ・溶剤　パークロロエチレン（テトラクロロエチレン） ３リットル/日	
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）		
その他参考となるべき事項	使用溶液は蒸留器にて回収還元し、減少分を補充する。 蒸留スラッジは、産業廃棄物として委託処理する	

備考　有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び１日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）



用途別用水使用量

用　途	使　用　水	用水使用量（m³／日）
ドライクリーニング機械	溶剤	０．００３
ランドリー機械	水道水	５５

必要な添付書類について

（１）特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図

（２）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等

（３）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
（寸法の記載があるもの）

（４）有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
（有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。）

（５）有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図

（６）漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図

（７）特定事業場付近の見取図

様式第１（第３条関係）（表面）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

本記載例は、下水道へ排出している既設事業場が、法改正により新たに第５条第３項の有害物質使用特定施設となったケースを想定し、第６条第１項による使用届出としています。

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

届出者 〇〇写真 株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

担当者名及び電話番号	〇〇店 ■■ 電話は同上

水質汚濁防止法~~第５条第１項、第２項又は第３項（~~第６条第１項~~又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇写真（株） 〇〇店	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年 月 日
第５条第１項関係	特定施設の種類		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 □ 無 □	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備 考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 10 のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 11 のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☑ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当するものに「レ」印を記入してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙 12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	自動現像機１	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６８ 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設）	有害物質使用特定施設の場合は、政令別表第１（p.11）の特定施設の番号及び名称を記入してください。
型　　式	○○社製　○○－○○ （無水洗式）	
構　　造	ステンレスフレーム及び 合成樹脂製タンク付帯 （別紙仕様参照）	構造図を添付してください。仕様書、カタログの写しも可です。
主　要　寸　法	縦　　１．０ｍ 横　　１．２ｍ 高さ　１．５ｍ １台	
能　　力	フィルム現像　２０本／時間	
配　　置	１階作業場 （別添配置図参照）	施設の配置がわかる図面を添付してください。
床面及び周囲	床面：コンクリート及び塩ビシート 現像機周囲に受け皿を設置 （立ち上がり 150mm、容量 0.2m^3）	側溝、防液堤等について、その容量を記入してください。
設 置 年 月 日	○○年○○月○○日	年　月　日
工事着手予定年月日	年　月　日	年　月　日
工事完成予定年月日	年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日	年　月　日	年　月　日
その他参考となるべき事項		使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	自動現像機１	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６８ 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設）	
設　　備	無し	
構　　造	無し	
主 要 寸 法	無し	
配　　置	無し	
設置年月日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	年　月　日	
工事完成予定年月日	年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日	年　月　日	年　月　日
その他参考となるべき事項	使用薬品は現像機内のカートリッジにより回収されるため、有害物質を含む水は排出されない。	

施設に付帯する配管、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。

設備の構造、材質を記載してください。また、検知設備を有する場合は記載してください。

使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

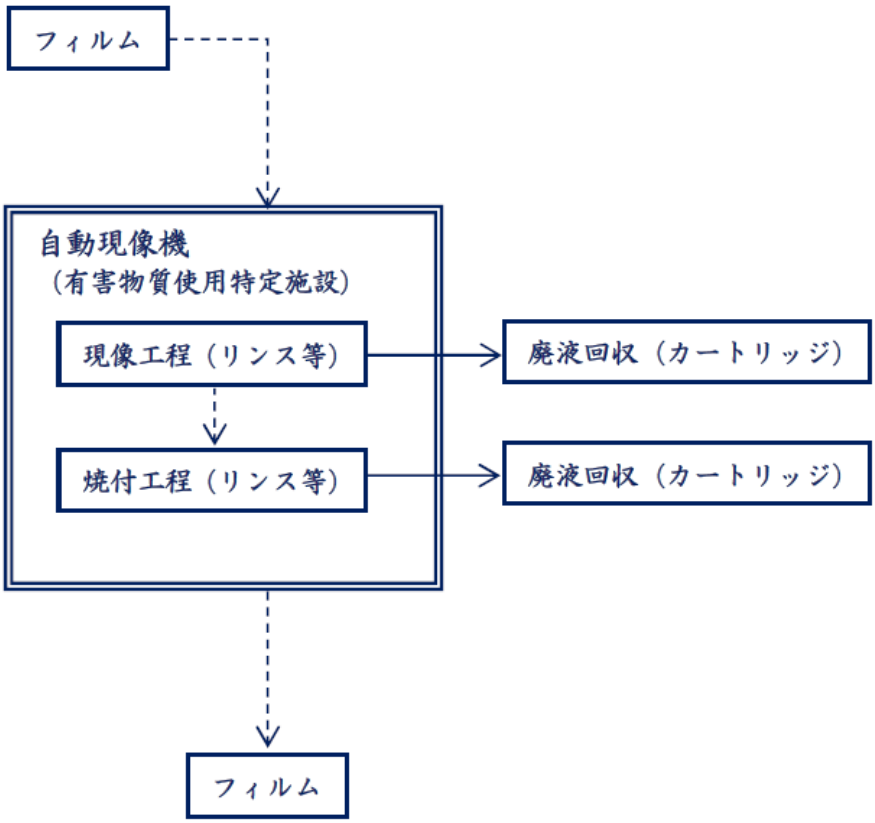
有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	自動現像機１	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 （６８ 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設）	
設　置　場　所	１階作業場（別添配置図参照）	
操 業 の 系 統	現像処理 （別紙操業系統図参照）	
使用時間間隔	10～12 時、13～16 時	
１日当たりの使用時間	計５時間	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	①発色現像液　・・・0.6 L/日 ②漂白液　・・・0.2 L/日 ③定着液　・・・0.2 L/日 ④安定液　・・・1.0 L/日	
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）		
その他参考となるべき事項	・ ①～④溶解水としてホウ素化合物、②・③アンモニア化合物 ・ 廃液回収量　2.0 L／日	

備考　有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び１日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	

用途別用水使用量

用　　途	使　用　水	用水使用量（m^3／日）

必要な添付書類

（１）特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図

（２）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等

（３）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
（寸法の記載があるもの）

（４）有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
（有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。）

（５）有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図

（６）漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図

（７）特定事業場付近の見取図

様式第１（第３条関係）（表面）

~~特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置（使用、変更）~~届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事　殿

〇〇化学株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
届出者　石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

届出の種類以外は
二重線で消してください。

担当者名及び電話番号	第二工場　■■　電話×××－×××－××××

水質汚濁防止法第５条~~第１項、第２項又は~~第３項~~（第６条第１項又は第２項、第７条）~~の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇化学（株） 第二工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年　月　日
第５条第１項関係	特定施設の種類		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有　□　　無　□	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙１のとおり。	※備　　考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙１の２のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙２のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙３のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙４のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙５のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙６のとおり。		
第５条第２項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙７のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙８のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙９のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

該当する事項以外は斜線で
消してください。

様式第１　（裏面）

第５条第３項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	□ 有害物質使用特定施設 ☑ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。		

該当するものに「レ」印を記入してください。

備考　１　特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。

２　有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙１の２を提出することを要しない。

３　有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。

４　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

５　※印の欄には、記載しないこと。

６　排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。

７　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

８　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙 12

~~有害物質使用特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~の~~の構造

工場又は事業場における施設番号	Ａ－１	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型　　式	貯蔵タンク ○○社製　○○－○○	
構　　造	ステンレス製 （別紙構造図参照）	構造図を添付してください。
主　要　寸　法	直径　1500mm 高さ　6000mm ２基	
能　　力	貯蔵量　各 1000 リットル	
配　　置	化学工場の屋外に設置 （別添配置図参照）	地下に設置されている場合は、その旨記載してくださ 配置図を添付してください。
床面及び周囲	床面：コンクリート（厚さ 100mm）及びエポキシ樹脂で被服 周囲：防液堤を設け、流出を防止（貯留量 m^3）	
設置年月日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	年　月　日
工事完成予定年月日	○○年○○月○○日	年　月　日
使用開始予定年月日	○○年○○月○○日	年　月　日
その他参考となるべき事項		使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

~~有害物質使用特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）~~の設備

工場又は事業場における施設番号	Ａ－１	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設　　備	地上配管、バルブ、フランジ	施設に付帯する配管、バルブ類、ポンプ設備、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。
構　　造	ステンレス製	設備の構造、材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載してください。
主　要　寸　法	地上配管　直径 200mm×50m バルブ　２カ所 フランジ　３カ所	設備のうち、主なものについて寸法を記載してください。
配　　置	化学工場の屋外タンクから 化学工場内１階まで （別添配置図参照）	建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記してください。
設置年月日	年　月　日	年　月　日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	使用届（法施行時に既設置）の場合は、設置した年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	○○年○○月○○日	
使用開始予定年月日	○○年○○月○○日	年　月　日
その他参考となるべき事項		有害物質を含む水が流れ出ない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、当欄にその旨記載してください。

備考　配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

~~有害物質使用特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）~~の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	Ａ－１	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所	化学工場の屋外から化学工場１階（別添配置図参照）	
操業の系統	○○反応施設にベンゼンを供給	
使用時間間隔	１週間に１回	
１日当たりの使用時間	１時間／回	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び１日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	ベンゼン（○○%）	
その他参考となるべき事項		

備考　有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び１日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<table>
<tr><td>施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</td><td colspan="3">搬入：タンクローリーから供給
１週間に１回、１時間

搬出：配管をとおり、特定施設である〇〇施設に供給する
連続供給、１日 1000 リットル

※　必要に応じて搬入及び搬出の系統がわかる図面を添付してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">用途別用水使用量</td><td>用　　途</td><td>使　用　水</td><td>用水使用量（m³／日）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

有害物質貯蔵指定施設の場合は記載不要です。

必要な添付書類

（１）特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図

（２）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等

（３）有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
（寸法の記載があるもの）

（４）有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
（有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。）

（５）有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図

（６）漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図

（７）特定事業場付近の見取図

様式第５（第７条関係）

氏　名　等　変　更　届　出　書

届出日を記入してください。

年　　月　　日

変更後の氏名、名称、住所を記入してください。

北海道知事　殿

届出者

〇〇株式会社
代表取締役　北　海　道　子
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話　〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

該当事項以外は二重線で消してください。

氏名~~（名称、住所、所在地）~~に変更があったので、水質汚濁防止法第 10 条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前	北海　太郎	※整 理 番 号	
	変更後	北海　道子	※受理年月日	年　月　日
変 更 年 月 日		〇〇年〇〇月〇〇日	※施 設 番 号	
変 更 の 理 由		代表者交代のため	※備　　考	

備考　１　※印の欄には、記載しないこと。

２　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

※ 公選制の知事及び市町村長のように公知の事実に係るものについては、提出の必要はありません。

様式第６（第７条関係）

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~使用廃止届出書

年　月　日

届出日を記入してください。

北海道知事　殿

届出者

〇〇株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

該当事項以外は
二重線で消してください。

特定施設~~（有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設）~~の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第 10 条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社　第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	石狩市〇〇町〇〇番〇〇号	※受理年月日	年　月　日
特定施設の種類	３ イ 水産動物原料処理施設	※施設	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※備考	
使用廃止の年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		
使用廃止の理由	施設の更新		

廃止した特定施設の種類の政令別表第１（p.12）の番号及び名称を記入。

設置場所を図面で示してください。

備考　１　水質汚濁防止法第５条第３項の規定による届出のあった施設の使用廃止の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
　　２　※印の欄には、記載しないこと。
　　３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

※　特定施設の使用廃止に伴い、用排水系統が変更する場合、また、施設の更新により新たに施設を設置する場合は、別途設置届出又は構造等の変更届出が必要となるので、ご留意ください。

様式第７（第８条関係）

承　継　届　出　書

届出日を記入してください。

年　　月　　日

北海道知事　殿

承継者の氏名、名称、住所を記入してください。

〇〇観光株式会社
代表取締役　北 海　太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
（電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇）

該当事項以外は二重線で消してください。

届出者

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~に係る届出者の地位を承継したので、水質汚濁防止法第 11 条第３項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△観光　第一ホテル	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	石狩市〇〇町〇番〇号	※受	年　月　日
特定施設の種類	６６の３ 旅館業 イ ちゅう房施設 ハ 入浴施設	※施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※備考	
承継の年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		
被承継者 氏名又は名称	株式会社△△観光		
被承継者 住所	石狩市〇〇町〇番〇号		
承継の原因	合併のため		

承継した事業場の名称及び住所を記入してください。

設置場所を図面で示してください。

登記簿等、事実を確認できるものを持参又は添付してください。

備考　１　水質汚濁防止法第５条３項の規定による届出のあった施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
２　※印の欄には、記載しないこと。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

※　事業場の名称の変更に当たっては、別途、氏名等変更届出書の提出が必要ですので、ご留意ください。